

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 小中学校人事課
 担当名: 総務 人事・学事・働き方改革
 内線: 6935 (単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P36	彩の国かがやき教師塾事業	一般会計	教育費	教育総務費	教職員人事費	教職員人事事務費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	教育公務員特例法第11条	針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール 4	
				分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット 4-2, 4-7, 4-a, 4-b	
1 事業概要	<p>ベテラン教員の大量退職と新規採用教員の大量採用により、より質の高い次世代の埼玉を担う優れた教員の確保が求められている。また、教員を志願する大学生の減少により、教員の安定的雇用が急務である。</p> <p>県教育委員会が主体となって大学と連携しながら子供たちに生きる力を育むことのできる優れた教員を養成するとともに、教員志願者数を確保するため、彩の国かがやき教師塾を実施する。</p> <p>彩の国かがやき教師塾 △2,027千円 報償費が見込みを下回ったこと等による減</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 彩の国かがやき教師塾（埼玉教員養成セミナー） 11,778千円 埼玉県の教員を目指す大学生に対し、大学入学後の早い段階から学校現場でのボランティア体験等を通じ教職の魅力や伝え、教員になろうとする志願者を増やすベーシックコース及び埼玉県公立小・中学校教員を強く希望する大学生等が、卒業後、新規採用教員となり豊かな人間性と実践的な指導力を持ち、将来埼玉の教育を担う教員として活躍できるための、資質・能力を育成するマスターコースを実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 開講期間 (ア) ベーシックコース 7月～ (イ) マスターコース 1月～</p> <p>イ 実施内容 (ア) ベーシックコース ・ボランティア体験 学校現場におけるボランティア体験を通して、教員の魅力や肌で感じる機会を得る。 (イ) マスターコース ・学校体験実習 小・中学校での実習を通して、実践的な指導力や柔軟な対応力を身に付ける。 ・講演・講義・演習 日曜日を利用して実施し、幅広い視野と専門性を高める。 ・体験活動 長期休業を利用し、社会教育施設等での体験を通して、豊かな人間性、社会性を養う。</p>						
3 地方財政措置の状況	<p>(3) 事業効果 彩の国かがやき教師塾の実施により教員志願者・合格者を増加させるとともに、優秀な教職員を確保することで、未来を創る全ての子供たちがその意欲や能力に応じて力を発揮できる。 受講者の教員採用選考合格者（予定） 令和5年度：80人→令和8年度：260人 受講者の教員の主任級的人数（予定） 令和5年度：350人→令和8年度：500人 ※旧セミナー生含む</p>						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>(4) 補正予算の概要 報償費が見込みを下回ったこと等による減</p>						
予算額		財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,027					△2,027	11,778
現計額	13,805					13,805	

事業内訳書

事業名	彩の国かがやき教師塾事業		
単位事業名	彩の国かがやき教師塾	予算額	△ 2,027千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,027	—	
合計	△2,027	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△1,820	—	見込みを下回ったことによる講師謝金の減
旅費	△163	—	執行留保等による旅費の減
需用費	△6	—	執行留保等による消耗品費の減
役務費	△15	—	執行留保等による傷害保険料の減
使用料及び賃借料	△23	—	見込みを下回ったことによる会場使用料の減
合計	△2,027	—	